

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	ユネスコ「世界の記憶」に関する国内推進体制の構築			担当部局庁	国際統括官付	作成責任者			
事業開始年度	令和4年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	国際統括官付	国際戦略企画官 白井 俊			
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等					
主要政策・施策	地方創生			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ユネスコ「世界の記憶」は、令和3年4月に行われたユネスコ執行委員会において制度改正が終了し、平成29年から凍結していた登録事業が再開された。一方でユネスコ「世界の記憶」の国内における認知度は低く、ユネスコ「世界の記憶」の趣旨、目的、及び登録されることのメリットが感じられにくいという現状を踏まえ、我が国として制度に沿ったよりふさわしい案件をユネスコに推薦するため、ユネスコ「世界の記憶」に対する国民の理解促進及び機運醸成の促進、並びに申請を検討する機関への支援を行うことを目的とする。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	以下2つの事業を実施する。 (1)情報発信事業 ユネスコ「世界の記憶」及び記録物の保存とアクセス提供の重要性に関して、広く一般に向けた情報発信を行い、ユネスコ「世界の記憶」の知名度の向上をはかるとともに、ユネスコ「世界の記憶」の事業趣旨である世界的に重要な記録物への認識の向上及び保存やアクセスの促進をはかる。 (2)研修事業 ユネスコ「世界の記憶」の国際登録及び地域登録の申請に向けて、我が国としてよりふさわしい案件をユネスコに推薦するため、ユネスコ「世界の記憶」国際登録及び地域登録に申請を検討している個人や団体に対して、事業趣旨や申請準備等に関する研修を運営する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	6.4	6.4		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		0	0	0	6.4	6.4		
	執行額		0	0	0				
執行率(%)		-	-	-					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	-					
令和4・5年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	国際協力推進事業委託費	5.1	5.1	-					
	委員等旅費	0.6	0.3						
	職員旅費	0.4	0.4						
	諸謝金	0.3	0.3						
	庁費	0	0.3						
	計	6.4	6.4						
活動内容(アクティビティ)	情報発信事業 ユネスコ「世界の記憶」及び記録物の保存とアクセス提供の重要性に関して、広く一般に向けた情報発信を行う。								
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	広く一般の国民に向けた、ユネスコ「世界の記憶」の知名度の向上及び事業趣旨の理解促進。	情報発信事業を通じて、ユネスコ「世界の記憶」の情報発信を実施した数(委託業者が作成したコンテンツ等の数や、当該コンテンツの使用数、弊省HP以外の媒体で紹介された数、コンテンツを使用して開催された講演会の数など)	活動実績	個	-	-	-	-	-
		当初見込み	個	-	-	-	10	10	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
				単位当たりコスト	百万	-	-	-	3.2
	情報発信事業の委託費/委託件数			計算式	百万円/件	-	-	-	3.2/1

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	成果実績	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 5年度	目標最終年度 年度
	広く一般の国民に向けた、ユネスコ「世界の記憶」の知名度の向上及び事業趣旨の理解促進。	ユネスコ「世界の記憶」の文部科学省HPを訪れた人の数			人	-	-	13,313	-
			目標値	人	-	-	-	14,650	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	文部科学省調べ								
活動内容(アクティビティ)	研修事業 ユネスコ「世界の記憶」の国際登録及び地域登録に申請を検討している個人や団体に対して、事業趣旨や申請準備等に関する研修を実施する。								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	活動実績	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	ユネスコ「世界の記憶」国際登録及び地域登録に申請を検討している個人や団体に対して、事業趣旨や申請準備等に関する研修を行い、申請に向けた支援を行うこと。	ユネスコ「世界の記憶」に関する研修に参加した人数		当初見込み	人	-	-	-	-
				人	-	-	-	30	30
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	研修事業のための委託費/研修の回数			単位当たりコスト	百万	-	-	-	1.8
				計算式	百万円/件	-	-	-	1.8/1
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	成果実績	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 5年度	目標最終年度 年度
	ユネスコの基準に照らし、我が国としてふさわしい案件をユネスコ「世界の記憶」に推薦すること。	ユネスコ「世界の記憶」国際登録への我が国からの登録申請案件数(共同申請数は除く)		件	-	-	-	-	-
			目標値	件	-	-	-	2	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	文部科学省調べ								
政策評価、 新経済・財 政再生計画との 関係	政策	13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進							
	施策	政策評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_13-2.pdf						
	取組事項	該当箇所	施策目標13-2-3						
改計 改革	分野:								
事業所管部局による点検・改善									
国費投入の 必要性	項目			評価	評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	ユネスコ「世界の記憶」については、令和3年4月にユネスコ執行委員会にて制度改正が行われた。これを受けて、日本として本事業趣旨に沿ったふさわしい候補を選定し、ユネスコへ登録することは、国際社会における日本への深い理解や日本国内の地域活性化、多様な価値観の相互理解、新たな社会の創造につながる等、国民や社会のニーズを反映させた事業である。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	ユネスコ「世界の記憶」は、令和3年4月の制度改正を受けて、誰でも申請可能としていた制度から、加盟国政府を通じて申請する制度へと変更となったため、より一層国が関与していく必要があるため、国が主体的に実施すべきものである。				
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	ユネスコ「世界の記憶」において国民の理解促進を図ることは、我が国としてふさわしい案件をユネスコに推薦するために必要不可欠な手段である。また、ユネスコ「世界の記憶」事業は、これまで日本も積極的に関わってきた制度改正が終了し、ユネスコにおける登録が再開されたこともあり、今後我が国からも申請を行うことに鑑みると、優先度の高い事業である。					

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保したうえで、事業説明会を早期に実施し競争参加者の検討時間の確保と事業への理解促進に努める。また、企画競争を行い、優れた提案について、外部の有識者による会議を設置して審査・採択を行うなど、競争性の確保に努める。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	外部の有識者による会議等を設置して妥当性を確認する予定である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	委託契約締結時に事業経費の単位当たりのコスト等の水準が妥当かどうかを厳正に精査する。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	外部の有識者による会議等を設置して妥当性を確認する他、委託契約締結時に事業経費の費目、用途の内容を厳正に精査する。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	過去に実施した類似事業の実績を踏まえ、コスト削減や効率化に向けた工夫を行っていく。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	ユネスコ「世界の記憶」が実施される中で、成果実績が成果目標と見合ったものとなっているか、精査し必要に応じて見直していく。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	外部の有識者による会議や事務局等において妥当性を確認する等、事業実施の手段・方法については、より効果的あるいは低コストな手段・方法がないか検討し、必要に応じて見直していく。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	本事業の実施の中で、外部の有識者による会議や事務局等において、必要に応じて見直していく。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	成果物等の活用については、外部の有識者による会議や事務局等において、本事業の実施の中で検討し、必要に応じて見直していく。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	事業実施に当たっては、競争性を確保した委託先の選定を行うとともに、外部の有識者による会議や事務局等において実施手段や事業経費の費目、用途の内容等については厳正に精査し、必要に応じて見直していく。	
	改善の方向性	本事業は令和4年新規事業であり、審査・採択においては、実施内容、積算等について効果的・効率的な内容であるかを精査するとともに、額の確定時においても実績報告などを通じて適正に事業が実施されているか注視する。	
外部有識者の所見			
外部有識者による点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
事業の実施状況等を踏まえ、適切なアウトカムの設定について不断の見直しを図ること。引き続き事業の着実な実施及び適切な予算執行に努めること。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
事業の着実な実施及び適切な予算執行に努める。			
備考			
—			

